

登園前の健康チェックをお願いします!

登園を控えたほうが望ましい症状

- ①登園前に体温を測定し 37.5℃を超える発熱ある。
- ②解熱後 24 時間以上が経過していない。
- ③咳、鼻水、咽頭痛、頭痛などの症状が強い。
(症状の改善がみられない)
- ④夜中に眠れなかった、強い眠気がある。
- ⑤軽度であっても下痢、おう吐が 24 時間以内に 2 回以上ある。
(胃腸炎と診断を受けている場合は、食事が摂れ・下痢・おう吐が 24 時間以上ない事が確認できるまでは、自宅療養をおすすめしています。)



その他

- ・朝の様子で元気がない、食欲がないなど気になることがあれば、登園時にお伝えください。
- ・登園後に発熱、おう吐、下痢、発疹などを認めたり、いつもと様子が違うと感じたりした場合は連絡をしますので、連絡がとれるようにしてください。
- ・出席停止等指定されている感染症もあるため、感染症の診断を受けたら必ず園へ報告をお願いします。その他不明な点は各園へお尋ねください。



おもな感染症の出席停止期間と登園のめやす

登園に医師の通園許可証が必要な感染症

(※については「経過報告書」を保護者が記載となります)

種類	病名	潜伏期間	出席停止の期間の基準
第1種	エボラ出血熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、SARSなど		治療するまで
	※インフルエンザ	1~4日	発症した後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまで(未就学児)
第2種	※新型コロナウイルス感染症	約5日間	発症した後5日を経過し、かつ解熱および症状が軽快した後1日を経過するまで
	百日咳	7~10日	咳が消失、または5日間の抗菌薬による治療終了まで
	麻疹(はしか)	8~12日	解熱したあと3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎(おたふく)	16~18日	腫れが出た後5日を経過するまで
	風しん(3日ばしか)	14~18日	発疹が消失するまで
	水痘(みずぼうそう)	14~16日	発疹が痂皮化(かさぶた)するまで
	咽頭結膜熱(プール熱)	1~14日	発熱、充血等の主な症状が消失し2日を経過するまで
	結核	3か月~数10年	感染のおそれがないと認められるまで
第3種	髄膜炎菌性髄膜炎	4日以内	感染のおそれがないと認められるまで
	腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)	10時間~6日	症状が消失し、感染のおそれがないと認められるまで
	流行性角結膜炎(はやり目)	2~14日	結膜炎の症状が消失するまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス、急性出血性結膜炎		感染のおそれがないと認められるまで

通園許可証が不要な感染症

(通園許可証は不要ですが、登園のめやすを参考に判断をしてください)

種類	病名	潜伏期間	登園のめやす
その他の感染症	溶連菌感染症	2~5日	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
	マイコプラズマ感染症	2~3週間	発熱がなく咳が治まっていること
	手足口病	3~6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
	りんご病	4~14日	熱がなく機嫌が良く、普段とおり過ごせること
	ウイルス性胃腸炎(流行性嘔吐下痢症)	12~48時間	嘔吐、下痢等が治まり24時間以上経過、普段の食事がとれること
	ヘルパンギーナ	3~6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
	RSウイルス	4~6日	発熱や咳がなく、普段とおり過ごせること
	帯状疱疹	不定	すべての発疹が痂皮化(かさぶた)になっていること
	突発性発疹	9~10日	熱がなく機嫌が良く、普段とおり過ごせること
	アタマジラミ		・頭ジラミは、駆除の開始をしていること
	水いぼ		・とびひは、水ぶくれや水ぶくれの破れた部位はガーゼでおおっておくこと
	とびひ		